

図書だより



7月に入り、いよいよ待ちに待った夏休みがやってきます！補習や部活、校外活動と忙しいかもしれませんが、せっかくのまとまった休みに読書にも取り組んでみませんか。

読み始めるのに勇気がいる長編小説やシリーズもの、ちょっと難しそうなテーマの新書、この夏話題の映画の原作など…。図書館ではいろいろなジャンルの本を用意して皆さんの来館を待っています！



夏期休業中の図書館開館日

□…開館日、■…閉館日

月	火	水	木	金
7/20	21	22	23	24
27	28	29	30	31
8/3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18	19	20	21
24	25	26	27	28
31	※開館時間は 9:30～16:45 です			

夏の特別貸出はじめます

夏の特別貸出として7/13(月)から
一人5冊まで貸出を行います。貸出期間は
9/4(金)までです。

現在本を借りている人は、一旦返却をして貸出
手続きをしてください。

※7/13～17の期間中、5冊まとめて貸出の方に
先着で「夏特製しおり」をプレゼント！



借りっぱなしの本はありませんか？

貸出期限を
過ぎた本は
早めに返しましょう。



今月のピックアップ図書

『新世界 透明標本』 富田伊織 (小学館)

今回ご紹介するのは、7類・芸術の棚にある写真集です。

透明標本とは、「特殊な薬品につけることで『筋肉を透明化し、軟骨を青く、硬骨を赤く染色する』という、骨格研究の手法。壊れそうなほど細かい骨でも、生物が生きていたときの位置のまま、立体的にその骨格を観察できる。」(本文より)…こう聞くと、何だか「骨の写真集??」と思ってしまうかもしれませんが、ページをめくると赤、青、紫の鮮やかな色彩と精巧で緻密なガラス細工のような美しさに目を奪われるはずです。



あたらしいほん 新しい本のおしらせ

★印はリクエスト図書です

- ★「花束は毒」 織守きょうや
- ★「あーあ。」 織守きょうや
- ★「史記 改版」 貝塚茂樹
- ★「青天」 若林正恭
- ・「小さな故意の物語」 東野圭吾
- ・「読まない人に、本を売れ。」 永松茂久
- ・「ジェノサイド(上下)」 高野和明
- ・「氷点(上下)」 三浦綾子
- ・「咲良は上手に説明したい！」 滝沢志郎
- ・「アルジャーノンに花束を」 ダニエル・キイス
- ・「戦う白衣の天使」 櫻庭由紀子
- ・「おい点P、動くんじゃねえ！」 とけいまわり
- ・「わかる身近な化学の本」 うえたに夫婦
- ・「iPS 細胞と医療」 高山和雄
- ・「物理学者の自由研究」 村田次郎
- ・「増補版 サツマイモの世界」 山川理
- ・「いま知りたい お米と農家の話」 農文協編
- ・「絶滅しない環境学」 石井徹
- ・「竹取工学物語」 佐藤太裕
- ・「テクノロジー全史」 磯津政明
- ・「AI という名の鏡」 シャノン・ヴァロー
- ・「サイエンス 日本史」 左巻健男
- ・「お金儲けしない経済学」 平賀緑
- ・「資本主義と、生きていく。」 品川皓亮
- ・「新しい観光学」 十代田朗
- ・「防災地元学」 小田隆史
- ・「僕たちは伝統とどう生きるか」 小倉ヒラク
- ・「『描く』を仕事にする」 lack
- ・「英文学のわからない言葉」 金原瑞人
- ・「地球の歩き方 京都」 地球の歩き方編集室
- ・「神社の超基本」 渋谷申行
- ・「海の国の中世」 網野善彦
- ・「シン・関ヶ原」 高橋陽介
- ・「名画で読み解くメディチ家12の物語」 中野京子
- ・「夜職税理士」 夜野仁
- ・「コズミック・ガール」 伊与原新
- ・「陰謀論百物語」 荻原浩
- ・「本屋さんのある街で」 風良ゆう・瀬尾まいこ他
- ・「最後の皇帝と謎解きを」 犬丸幸平
- ・「うさぎ玉ほろほろ」 西條奈加
- ・「まどろみの星たち」 菰野江名
- ・「会計が面白いほどわかるミステリ 決算書に隠された7つの罪」 白井敬祐
- ・「絶対に見たことがあるアレの正体、聞いてみた」 井上マサアキ

高校生に読んでほしい 50 冊 & 瀬尾まいこ「0 冊目の本」

高校生が読書に親しんでいく際、指針となる50冊を紹介する新潮社の小冊子です。今年は特別に瀬尾まいこさんの「0 冊目の本」も一緒に配布しています。読書が苦手な人でも、この本ならあつという間の70ページ！読後には一つの作品を読み終えた充実感と温かな感動を味わえます。

この冊子に掲載されている文庫・単行本を集めてミニコーナーを設置しています。冊子を見て気になる本があったら、気軽に司書までおたずねください。



話題の映画、原作紹介

「黒牢城」 米澤穂信 (KADOKAWA)

時は戦国時代、織田信長に反旗を^{ひるがえ}翻した荒木村重が立てこもる有岡城。その城内で起こる不可解な事件。謎を解くのは、地下牢に閉じ込められた敵方の軍師・黒田官兵衛。牢から一歩も出ずに真相を見抜く推理と、最後まで読めない展開が魅力です。

歴史小説でありながら、ミステリーの面白さも味わえる作品です。戦国の城を舞台にした極上の謎解きを、この夏体験してみてください。

